

## 支部Newsletter

### 北海道支部

#### ◎第68回大会の開催(報告)

10月29日(日)に本支部第68回大会が藤女子大学(北16条キャンパス)にて対面形式で開催されました。今大会では、5件の研究発表、2件の招聘発表、文学部門シンポジウム「21世紀に異性装を再考する」、語学部門シンポジウム「文法とレトリックのせめぎあい—認知・構文・比喩—」、語学部門セミナー「『モノがコトに包まれる「場」のある世界』と『モノだけから成る「場」のない世界』—日英語の『絵本』・『映画ポスター』の違いにもふれて—」が行われ、充実したプログラムとなりました。

#### ◎理事会および総会について(報告)

支部大会当日に開催された理事会では、3件の議題と5件の報告がありました。支部の活動方針や会計状況等について議論・承認された後、会計状況等および2024年度の支部大会開催ブロックが提案され、承認されました。同日開催された総会では、活動報告、決算報告、次年度支部大会開催ブロックの報告がなされました。

#### ◎道南ブロック企画事業(報告)

11月11日(土)、令和5年度函館英語英文学会研究発表会が北海道教育大学函館校で開催され、本支部が共催しました。

#### ◎『北海道英語英文学』第69号の原稿募集について

現在、『北海道英語英文学』第69号に掲載する原稿を募集しています。締め切りは2024年5月10日必着です。詳細は別途発行の『北海道英語英文学』第68号(『英文學研究 支部統合号』第16巻)の巻末または支部ホームページをご覧ください。

#### ◎第69回支部大会について

2024年度支部大会は、道北・道東ブロックの北海道教育大学旭川校での開催に決定しました。日程については確定し次第、支部ホームページにてご案内致します。

#### ◎2024年度の事務局について

2024年度の事務局は以下の通りです。

〒078-8510北海道旭川市緑が丘東2-1-1-1  
旭川医科大学 英語2研究室内  
日本英文学会北海道支部事務局  
[TEL/FAX] 0166-68-2734  
[メールアドレス] hokkaido@elsj.org  
[ホームページ]  
<http://www.elsj.org/hokkaido/>

#### ◎会員情報更新のお願い

氏名、住所、メールアドレス、職位、勤務先の異動等があった際には、速やかに日本英文学会本部事務局ならびに支部事務局へご連絡ください。また、メールアドレスを登録されていない方はご登録をお願い致します。ご登録の際には、本部と支部の両事務局にお届けくださいますようお願い申し上げます。

(文責：三好暢博)

### 東北支部

#### ◎第78回支部大会開催報告

第78回東北支部大会が、2023年12月9日(土)に、対面にて、開催されました。参加者はおよそ50名を数えました。4件の研究発表および2件のシンポジウムが行われ、活発な質疑応答が展開されました。

今回も、対面形式で、開催しました。様々な協議と入念な準備を経て開催し、無事に終わることができました。大会準備委員ならびに開催校委員の皆様、研究発表された皆様、司会およびシンポジウムの講師を務められた皆様、そして当日参加された会員の皆様には、この場をお借りして心よりお礼申し上げます。

詳細は東北支部ホームページ(<http://www.elsj.org/tohoku/index.html>)をご覧ください。

#### ◎東北支部研究振興事業「若手研究者のためのトラベルグラント」次回締切

東北支部の研究振興事業「若手研究者のためのトラベルグラント」は若手研究者の支援を目的とし、4月1日、10月1日と年2回の締切を設けて募集を行なっています。次回の締切は

2024年4月1日です。応募希望者は、支部ホームページ上にある申請書ファイルをダウンロードのうえ、事務局(tohoku@elsj.org)宛にご応募ください。

#### ◎『東北英文学研究』第14号発行および第15号原稿募集

『東北英文学研究』第14号が『英文学研究 支部統合号』第16巻に合本される形で発行されました。また、現在『東北英文学研究』第15号の原稿を募集しています。締切は2024年4月30日です。支部ホームページにある投稿規程をご覧ください。事務局(tohoku@elsj.org)宛に、どうか奮ってご応募ください。

(文責：高田英和)

## 関東支部

#### ◎関東支部第23回大会(2023年度秋季大会)について

日本英文学会関東支部第23回大会(2023年度秋季大会)は、2023年10月29日(日)に実践女子大学渋谷キャンパスにて開催されました。夏季大会に続き対面で開催いたしました。盛会のうちに無事終了することができました。当日ご登壇、ご発表くださった皆様、ご参加くださった皆様に重ねて御礼申し上げます。開催のために大変ご尽力くださった大会準備委員の皆様にも感謝申し上げます。

#### ◎関東支部第24回大会について

日本英文学会関東支部第24回大会は、2024年6月16日(日)に明治大学駿河台キャンパスにて開催の予定です。研究発表応募締切は2024年3月末です。具体的な日程と詳細は関東支部HP (<http://www.elsj.org/kanto/index.html>)にて近日公開の予定です。

#### ◎『関東英文学研究』第17号について

『関東英文学研究』第17号への投稿を募集しております。締め切りは2024年5月15日(水)です。奮ってご投稿ください。投稿規定につきましては、関東支部HP、および『関東英文学研究』第16号の巻末をご覧ください。

#### ◎2023年度関東支部総会報告

2023年10月29日(日)に実践女子大学渋谷キャンパスにおいて2023年度関東支部総会が開催されました。主な議題は以下の通りです。

1. 支部長報告(2023年度支部秋季大会の開催について、2025年度全国大会開催校について)
2. 大会準備委員会報告(2023年度支部秋季大会について、2024年度夏季及び秋季大会について)
3. 編集委員会報告(『関東英文学研究』第16号について、『関東英文学研究』第17号について)
4. 事務局報告(2022年度収支決算・会計監査について、関東支部の講師派遣事業について)

#### ◎理事会報告

2023年10月29日(日)に実践女子大学渋谷キャンパスにおいて2023年度第2回理事会が開催されました。主な議題は以下の通りです。

##### ○報告事項

1. 支部長報告(2023年度第1回理事会議事録確認、2023年度総会の開催について、2025年度全国大会開催校について)
2. 大会準備委員会報告(2023年度秋季大会、2024年度夏季及び秋季大会、次年度の委員人事など)
3. 編集委員会報告(『関東英文学研究』第16号、第17号、次年度の委員人事など)
4. 事務局報告(2022年度会計監査、講師派遣事業)

##### ○審議事項

1. 関東支部大会における謝金・交通費・宿泊費に関する内規の改正(尚、審議事項は差し戻し、次回以降に再審議予定)

#### ◎編集委員会報告

2023年9月10日(日)に、Zoomミーティングにて2023年度第3回編集委員会が開催されました。主な議題は以下の通りです。

1. 2023年度優秀論文賞・若手奨励賞について該当論文なし
2. 特別寄稿論文査読報告、判定
3. 2023年度再投稿論文査読報告、判定

4. 2024年度の後任委員人事(敬称略：以下同様)
5. 2024年度委員長 植月恵一郎(日本大学)  
加藤めぐみ(都留文科大学)→大道千穂(青山学院大学)  
宮丸裕二(中央大学)→皆本智子(早稲田大学)  
高桑晴子(お茶の水女子大学)→久野陽一(青山学院大学)  
牧野理英(日本大学)→杉山直子(日本女子大学)  
常山菜穂子(慶應義塾大学)→加藤有佳織(慶應義塾大学)  
島崎里子(昭和女子大学)→宮下治政(鶴見大学)

#### ◎大会準備委員会報告

2023年10月29日(日)に実践女子大学渋谷キャンパスにおいて2023年度第3回大会準備委員会が開催されました。主な議題は以下の通りです。

1. 2024年度副委員長(2025年度委員長)(敬称略：以下同様)
2. 山中章子(日本工業大学)が2024年度副委員長に選出された。なお、2024年度委員長は川本玲子(一橋大学)。
3. 2024年度の後任委員  
大森裕二(拓殖大学)→松本美千代(日本大学)  
諏訪友亮(実践女子大学)→鎌田明子(東京農業大学)  
瀧口美佳(立正大学)→山口敬雄(東京福祉大学)  
中嶋英樹(多摩美術大学)→輪湖美帆(中央大学)
  1. 今後の大会企画担当
  2. 2024年度夏季大会について(2024年6月16日(日)に明治大学駿河台キャンパスにて開催の予定。形態と懇親会の有無については2024年4月に開催される委員会で決定する。)
  3. 2024年度秋季大会について(2024年11月に専修大学神田キャンパスにて開催の予定。形態と懇親会の有無については2024年4月に開催される委員会で決定する。)
  4. その他検討事項
  5. 今後の予定

#### ◎事務局よりご連絡

1. 上述の通り、次回の関東支部大会は2024年度夏季大会となります。研究発表への積極的な応募をお待ちしています。応募締切は2024年3月末です。具体的な日程と詳細は関東支部HP (<http://www.elsj.org/kanto/index.html>)にて近日公開予定です。
2. 『関東英文学研究』第16号には、6本(イギリス文学2本、アメリカ文学2本、英語圏文学1本、英語学・英語教育1本)の投稿論文が寄せられ、そのうち2本が掲載可となり、特別寄稿論文と合わせて4本が掲載されました。今後も関東支部は、意欲ある研究者を応援いたします。優秀な論文には、新人奨励賞・優秀論文賞を授与しています。ぜひ積極的にご投稿ください。
3. 2023年8月25日(金)に岡山市民会館大ホールにて、岡山県立岡山朝日高等学校進路教養講座講演会(日本英文学会関東支部共催)「学問の魅力——達人に学ぶ英語学習法」が開催されました。講師は東京大学名誉教授の齋藤兆史先生(関東支部理事)です。本講演会は関東支部の講師派遣事業の一環としておこなわれました。
4. 関東支部では、中学校、高等学校、大学、社会教育施設、生涯教育機関を対象に、日本英文学会関東支部の会員を英米文学、英米文化、英語、英語教育に関する講演や授業に講師として派遣し、ひろくその理解を深める機会を提供しています。講師派遣に関わる講演料の一部は関東支部の基金から支出します。講演や授業をご希望の中学校、高等学校、大学、社会教育施設、生涯教育機関関係者の方々は、ぜひ関東支部事務局([kanto@elsj.org](mailto:kanto@elsj.org))までご連絡ください。詳しくは、支部HPの「講師派遣事業」のページ(<http://www.elsj.org/kanto/haken.html>)をご参照ください。

(文責：古屋耕平)

#### 【中部支部】

##### ◎第75回支部大会報告

中部支部第75回大会は、岐阜市立女子短期大学において、2023年10月28日(土)に対面で

開催されました。大会ではシンポジウム3件と8件の研究発表が3室に分かれて行われ、参加者は67名ほどでした。久しぶりの対面の大会ということで、シンポジウム・研究発表は活気にあふれ、質疑応答でも活発な議論の花が咲き、盛会のうちに終了しました。また、今回の大会には他支部の会員や当日会員の皆様が多数参加されました。開催校である岐阜市立女子短期大学関係者の皆様、参加された会員の皆様、シンポジウム講師、研究発表者、司会者の皆様には厚くお礼申し上げます。

大会プロシーディングズは、中部支部ウェブサイトにて2月1日(木)に掲載されましたので、ぜひご覧ください。また、発表者の皆様におかれましては、今回のご発表の内容をぜひ論文にまとめ、『中部英文学』への投稿をご検討いただければ幸いです。

#### ◎支部総会報告

支部大会が対面での開催となったことに伴い、支部総会もまた対面での開催となりました。昨年10月28日(土)に開催された総会において、以下の議題が報告もしくは提案され、了承されました。なお、総会資料・議事録につきましては、支部ウェブサイトに掲載されております。

1. この一年の活動報告
2. 次年度以降事務局担当校ならびに支部大会開催校について
3. 前年度会計決算報告
4. 今年度予算案

#### ◎『中部英文学』第44号投稿募集

『中部英文学』第44号投稿の締切は4月10日(水)必着です。執筆ご希望の方は投稿規定を熟読・厳守の上、奮ってご応募ください。ここ数年は『中部英文学』への投稿数が少なくなっております。会員の皆様におかれましては、今後の学会誌の質の維持のために、ぜひ『中部英文学』への投稿をご検討いただければ幸いです。

#### ◎第76回支部大会発表募集

第76回支部大会は今年9月22日(日)、愛知淑徳大学星が丘キャンパスにて開催予定です。研究発表応募締切は5月31日(金)必着です。発表

ご希望の方は応募要領を熟読され、お早めに必要書類送付と年会費支払いをお願いします。コロナ禍以降、研究発表の応募者数が少ない傾向が続いております。ぜひ奮ってご応募ください。

#### ◎つねに最新の会員情報をお知らせ下さい

氏名、住所、メールアドレス、勤務先、職位等の異動がおありの場合は、すみやかに本部事務局と支部事務局の両方にご連絡ください。また、メールアドレス未登録の方は、業務効率化のため、ぜひともご登録をお願いいたします。いただいた個人情報は、中部支部の業務のみに使用し、他の用途にはいっさい使用いたしません。

(文責：前田 満)

#### 関西支部

##### ◎関西支部第18回大会について

2023年12月17日(日) 11:00より、神戸大学にて関西支部第18回大会が開催されました。昨年に引き続き対面形式による実施となり、今回は懇親会と書籍展示も開催されました。当日の登壇者並びに管理運営に携わって下さった皆様に厚く御礼申し上げます。今回は4件の招待発表を含む24件の研究発表と、英米文学部門および英語学部門の2件のシンポジウムが行われました。出席者は約100名を数え、盛況のうちに大会は終了しました。来年度の大会も皆様と会場でお目にかかれることを期待したいと存じます。

##### ◎役員会および総会について

支部大会当日に開催された理事・評議員合同役員会では、昨年度の会計報告に引き続き、機関誌編集委員長代理と大会準備委員長からそれぞれ報告があったほか、第19回支部大会は関西外国語大学を開催校として2024年12月14日(土)に実施予定であることが支部長から報告されました。また、次に関西支部が全国大会をホストするのが2026年度になること、本部からの支部支援金の算出方法が一部改正される予定があることが支部長から報告されました。総会でも以上の内容とほぼ同様の報告がなされ、来

年度の支部大会会場となる関西外国語大学の開催校委員からの挨拶がありました。

#### ◎機関誌第18号の投稿について

『関西英文学研究』第18号の投稿締切は4月末日です。電子媒体での投稿となります。詳しくはHPで投稿規定をご確認ください。なお、修士号取得7年以内の関西支部会員ならびに準会員による優れた論文には関西支部奨励賞(過去にこの賞を受賞していない者が対象)が授与されます。奮ってご投稿ください。

#### ◎関西支部第19回大会の研究発表の応募について

関西支部第19回大会は、2024年12月14日(土)関西外国語大学にて開催される予定です。日程は変更の予定があるため、開催様式の通知も含めて、支部ホームページを随時ご確認ください。また、研究発表の応募締切は6月下旬の予定です。奮ってご応募ください。

#### ◎関西支部の各種事業について

現在関西支部では、支部機関誌の発行と支部大会の開催に加えて、海外研究者招聘後援事業、講演会補助事業、学会発表補助事業を行っています。以上、事業の趣旨に合致するケースがありましたら、是非ご活用ください。規約、役員、機関誌の投稿規定、奨励賞の選考基準、研究発表の応募要項、各種事業の詳細については、関西支部ホームページをご覧ください。

(文責：金山亮太)

## 中国四国支部

#### ◎中国四国支部第75回大会報告

2023年10月28日(土)・29日(日)の両日、島根大学松江キャンパスにおいて中国四国支部第75回大会が開催されました。実に4年ぶりの対面での開催となりましたが、盛会のうちに全プログラムを終了することができました。開催責任者の松浦雄二氏(島根県立大学教授)、宮澤文雄氏(島根大学講師)を始めとする開催校のご関係者、および島根県の会員の皆様には大変お世話になりました。この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

第1日目(28日)は、太田聡支部長による開会の辞をもって開会式が行われたあと、研究発表、特別講演、懇親会が行われました。研究発表は、英語学関係3件、イギリス文学関係3件、アメリカ文学関係3件、英語教育関係3件の計12件が行われました。このうち、英語学関係では、西村秀夫氏(三重大学名誉教授)による招待発表「Naples写本で *Lybeaus Desconus* を読む」(司会：広島大学教授 大野英志氏)が行われました。特別講演は、太田真理氏(九州大学准教授)による「脳科学と言語学から見た『文』学：言語脳科学への誘い」(司会・導入：山口大学教授 太田聡氏)がありました。特別講演の後、松江エクセルホテル東急にて松浦雄二氏の司会のもと、懇親会を催すことができました。参加者のなかには、初対面で親睦を深める方、旧交を温める方、質疑応答の続きを行う方、研究について意見交換をする方などがおられ、対面形式のメリットを実感する懇親会となりました。

第2日目(29日)は、広島大学教授の吉中孝志氏(司会・講師)の主導のもと、富村憲貴氏(熊本大学准教授)、小林英美氏(茨城大学教授)、道木一弘氏(愛知教育大学教授)によるシンポジウム「英文学と音楽／音楽性」がありました。そのあと、小野章副支部長の閉会の辞を持ちまして全日程を終了しました。

#### ◎理事会報告

支部第75回大会に先立ち、10月26日(木)午後のオンライン理事会にて次の議題が審議されましたのでご報告いたします。

##### 1. 会計報告および会計監査報告

周躍事務局長補佐が2022年度決算報告を行い、会計監査(栗原武士氏、西野友一朗氏)により適切に会計処理されていることが報告され、承認されました。

##### 2. 第76回支部大会について

日本英文学会中国四国支部第76回大会は、2024年11月2日(土)・3日(日)に、岡山県岡山市の就実大学(開催校責任者：渡辺浩氏)で開催されることが承認されました。

##### 3. 第76回支部大会運営スケジュールについて

第76回支部大会に向けての準備日程案が提案され、承認されました。

#### 4. 第76回大会の特別講演・シンポジウムについて

特別講演をアメリカ文学分野、シンポジウムを英語学分野に割り当てるのが提案され、承認されました。また、今後は、当該年度に特別講演を担当した分野が、次年度のシンポジウムを担当することも確認されました。

#### 5. 編集委員会規程の改正について

編集委員会規程の改正について承認されました。ただし、規程の最終的な文言については継続審議中です。審議が終わり、新規規程が完成しましたら、支部ホームページ等で改めてお知らせします。

#### 6. 学会誌編集委員の交代について

2023年度末で任期満了となる編集委員について説明がありました。後任委員の人選については、上記5の編集委員会規程の改正を待って始める旨提案があり、承認されました。

#### 7. 第75回大会における大学院生発表研究助成の運用について

本助成制度に関して正確に周知されていなかった可能性があるため、第75回大会に限り、交通手段を問わず、交通費の実費を支給することが提案され、了承されました。

#### 8. 大学院生発表研究助成の改正について

上記7に関連して、現行制度の運用方法の見直しとともに、当支部の若手研究者(大学院生を含む)の研究活動の支援を目的として、本助成制度の改正が提案され、その内容と方向性は了承されました。ただし、規程の最終的な文面については、後日理事間でメール審議とすることとなりました。詳細が決まりましたら、支部ホームページ等で改めてお知らせします。

#### 9. 「若手研究者出版助成制度」の周知について

本助成制度に関する周知について提案があり、条件付きで了承されました。規程上および財政上の懸念点を再確認し、問題が解消されましたら、支部ホームページ等で改めて周知いたします。

#### 10. 支部支援金の計算方法の変更について

当該事項について説明がありました。

#### ◎支部大会開催のお知らせと研究発表の募集

2024年度の第76回大会は、11月2日(土)・3日(日)の両日、就実大学(岡山市)で開催いたし

ます。大会案内は2024年3月頃にメールおよび支部ウェブサイトにてお知らせします。研究発表の募集の締め切りは、5月15日(水)(必着)です。たくさんのご応募をお待ちしております。

#### ◎『中国四国英文学研究』第21号の原稿の募集

支部学会誌『中国四国英文学研究』第21号(『英文学研究』支部統合号第17巻)の原稿を募集いたします。締め切りは、5月15日(水)(必着)です。投稿規程は、支部ホームページ(<http://www.elsj.org/chu-shi/studies.html>)をご覧ください。

#### ◎支部メーリングリストへの登録について

2021年度より、支部会員のメーリングリストを作成し、支部大会のご案内などに使用しております。これまで郵送費がかかっていたものをEメールで通知することで経費を削減し、より良い学会運営に充当・利用するとともに、より迅速に、いち早く最新情報をお伝えしております。もしこのメーリングリストに未登録の方がいらっしゃいましたら、支部事務局までご連絡ください。

(文責：田多良俊樹)

## 九州支部

◎日本英文学会九州支部第76回大会は、令和5年10月14日(土)、15日(日)の両日に、宮崎大学木花キャンパス(宮崎市)で対面形式により開催いたしました。

◎令和5年度第3回支部編集委員会が令和5年10月14日(土)の午前に、宮崎大学木花キャンパスで対面により開催されました。また、編集委員会の終了後、第3回支部評議員会・理事会の合同会議が開催されました。主な報告事項、議題は下記のとおりです。議事録は支部ホームページに掲載されていますのでご覧ください。

#### 《編集委員会》

1. 『九州英文学研究』第39号(支部統合号Vol. XV)と『九州英文学研究』第40号(支部統合

号Vol. XVI)の刊行について

- ・資料に基づき説明があり承認された。当該年度の九州支部学会賞(「優秀論文賞」、「奨励賞」)については、該当者なしとの報告がなされた。
- 2. 「招待発表者」ならびに懲憑について
  - ・資料に基づき説明があり、懲憑担当者からの申し出があり、承認された。
- 3. 支部大会統合プロシーディングスについて
  - ・プロシーディング担当の書記より説明があり承認された。
- 4. 来年度の支部大会について
  - ・福岡大学での開催予定について報告がなされ委員会としても承認した。
- 5. 学会発表旅費支援制度について
  - ・資料に基づき説明がなされ、種々意見交換の後に、修正点を含めてメール会議で再審議することとなった。(その後のメール会議により本件は承認された。詳しくは九州支部ホームページをご覧ください。)

《支部評議員会・理事会》

#### 1. 活動報告

- ・『九州英文学研究第39号』刊行、大会ProceedingsのWeb掲載
- ・第75回支部大会(2022年10月22日～23日)西南学院大学
- ・理事会・評議員会(2022年10月22日(土) 11:00～12:00西南学院大学一号館710教室、2023年4月30日～5月12日メール会議、2023年7月30日～8月5日メール会議、2023年10月14日(土) 11:00～宮崎大学木花キャンパス))
- ・編集委員会(2022年10月22日(土) 10:00～11:00西南学院大学一号館710教室、2023年4月23日～5月20日メール会議、2023年7月29日(土) 13:00～14:30オンライン会議、2023年10月14日(土) 10:00～宮崎大学木花キャンパス)
- ・第76回支部大会(2023年10月14日～15日)宮崎大学木花キャンパス

#### 2. 会計報告

- (1) 2022年度会計報告、監査報告
- (2) 2023年度中間報告
- (3) 2024年度予算案

(4) 第76回支部大会における予算の追加措置について

- ・2022年度(令和4年4月1日～令和5年3月31日)の支部会計報告が行われ、黒木隆善氏(九州共立大学評議員)による監査が行われた旨が報告された。いずれについても、議長より資料に基づき説明がなされ、質疑の後、承認された。
- ・2023年度会計の中間報告、ならびに2024年度予算案、第76回支部大会における予算の追加措置についても提案され、承認された。

#### 3. 統合号出版経費負担について

- (1) プロシーディングス分担金0円
- (2) 支部大会資料統合版分担金0円
- (3) 英文学研究支部統合号第15巻181574円(第14巻86838円(45頁))

・いずれについても、議長より説明がなされ、質疑の後、承認された。

#### 4. 編集委員会報告

・上記の通り。

#### 5. 2024年度全国大会・支部大会の開催大学について

第96回全国大会は東北大学川内北キャンパス(宮城県仙台市)(2024年5月4日(土)、5日(日))で開催の予定である。また、第77回九州支部大会は福岡大学で開催の予定である。

#### 6. 学会発表旅費支援制度について

議長より資料に基づき説明がなされ、種々意見交換の後に、修正点を含めてメール会議で再審議することとなった。(その後のメール会議により本件は承認された。詳しくは九州支部ホームページをご覧ください。)

#### 7. 事務局役員名、理事名、評議員名、評議員校、編集委員名

・議長より資料に基づき説明がなされ、承認された。

報告事項：

#### 1. 日本英文学会臨時理事会(10月9日開催)

- (1) ハラスメント防止ガイドラインについて
- (2) インボイス制度に関して

(3) 支部支援金の算出方法について

九州支部ホームページ

<http://kyushu-elsj.sakura.ne.jp/>

(文責：竹内勝徳)